

協議
自動
本ス
日シ

第5期総会を開催

さらなる活性と新領域の拡大を目指す

同協会は、自動認識機器及びそれに関連するソフトウェアに関する調査研究、規格の立案及び標準化の推進、普及及び啓発等を行うことにより、製造、物流、流通等のシステムの効率化及び高度化の推進を図ることを目的に結成された経済産業省所管の団体。また自動認識総合展の開催や自動認識技術者資格試験を実施し、最新動向の発信や技術の発展に寄与している。農業分野においても今後の自動化、省力化を担う重要な技術の1つとして、年々関心が高まっている。

(一社) 日本自動認識システム協会(略称JASIS A) 事務局・東京都千代田区岩本町1-9-5 F.Kビル7F・☎03(5825)6651

は、5月27日、都内の東京プリンスホテルにおいて、平成27年第5期総会を開催し、会員企業・団体から140名の代表者が出席した。



春代表専務 伊沢兼 左副会長 西田 新任副会長 山代 新任理事長 今山 代表理事

①平成26年度事業報告書及び決算案②理事・監事の選任などの議案が審議さ

れ、いずれも満場一致で承認された。特に27年度事業では、既存領域の深耕と活性、新領域拡大を目指すしていくとし、その

ためにも9月16～18日開催の自動認識総合展や自動認識技術者育成のための資格認定事業、広報活動などを通じて各業界へPRし、さらなる発展を図っていくことが決定された。

総会後の理事会においては、代表理事を選任。代表理事会長に伊沢太郎氏(凸版印刷(株)取締役事業開発・研究本部長)が、代表理事副会長に春山安成氏(マーストーケンソリューション(株)取締役会長)が、副会長兼専務理事に西田浩一氏(サトーホールディングス(株)取締役相談役)がそれぞれ就

任した。その後の懇親会において伊沢代表理事会長が挨拶し、「近年のICT技術の発展は非常に急速なもの。今後はあらゆるモノとコト、そしてヒトが情報を共有し合い、瞬時に把握できる世界となってくる。恐らく、10年後は我々が想像するものと全く違う世界が広がって

いるのではと思っている。そこに必要となってくるのが認識の技術。我々は新しい世界を切り開く中核になるのではと考えている。協会としてもその新しい世界を一緒に切り拓いていくために尽力して「所存です」と今後の発展に向けての意気込みを述べた。